

令和6年度第1回大磯町スポーツ健康会議

- 日時 令和6年9月26日(木) 午後6時～午後7時30分
- 場所 大磯町保健センター2階 研修室
- 出席者 会長、副会長ほか10名
- 事務局 町民福祉部長、スポーツ健康課長、スポーツ健康課職員
- 傍聴者 0名

議題

第2期けんこうプラン大磯令和5年度進行管理書(案)について

事務局:(資料説明)

●意見提案及び質疑

【会長】

「みんなでクッキング」の事業について、評価がC評価となっている。事業の達成できなかった理由に「事業の見直しにより」と記載がある。この事業以外にも「事業の見直しにより」できなかった事業があるが、このままにしておくと来年も再来年もずっと達成できないことになってしまう。事業そのものや目標を変更していくなどする必要があると思うが。

【事務局】

目標値については、関係する部署に依頼して決めており、年度毎の担当課の課題に対して目標を設定するので、今後、現状の課題にあった目標設定をしていく必要があると考えている。

【会長】

目標値についても、例えば「各教室で啓発する」という内容は目標として曖昧なので、もう少し具体的な目標設定をしないと評価もできないと思う。今後、目標値の変更をする際は、具体的にどこを目指すのかを担当部署と協議が必要と考える。

【事務局】

他部署に依頼をする際は、数値目標にするなどの具体的な目標設定として依頼をしていく。

【委員】

まず年度毎に目標を設定していくということだが、新たな課題に対し、新たに追加する事業があるのか。また、重複する事業もあるが、今後廃止する事業があるのかどうか。また、評価の仕方については、定性的にやるのか、定量的にやるのか。「やった」・「やらない」という内容だけで評価をしている事業について、ただ「やった」から A 評価という内容だと、見た目では A 評価が増えていいが、例えば自殺関係の「こころといのちのサポート事業」については A 評価だが、数値目標を見ると D 評価となっている。単純に「やった」・「やらない」で A 評価をつけるのではなく、数値目標についても考慮して事業評価をしていく必要があると考える。

【事務局】

新たに追加する事業や廃止する事業については、第 2 期けんこうプラン大磯を策定した段階で事業内容としては確定しているので、追加する事業や廃止する事業はない。ただし、その年度毎で社会情勢や課題等も変わるので、事業の目標内容を変更していく必要がある。また、重複事業については、3つの基本目標それぞれにスポーツの分野や健康の分野などが複合されているため、重複事業自体はどうしても出てきてしまう。第 2 期けんこうプラン大磯からは重複事業分の事業内容の記入は省略ができるとされているが、今回の会議資料ではわかりやすいよう省略をしなかった。また、事業評価をする際に数値目標の評価を考慮することについては、事業目標は数値目標の評価を良くするために年度毎に目標を設定し、評価しているものと考えているため、たとえ数値目標の結果が悪くても各担当で行う事業評価が高いことで、徐々に数値目標の結果も改善されていくと考えている。

【委員】

数値目標の D 評価について、「なぜ D 評価だったのか」というところを今後の課題として取り上げる必要があるのでは。例えば、ゲートキーパーや、学校でのカウンセリングなどは、学校だけの存在ではなくて、地域としての存在を増やしていかないといけないことなど、細かな課題を書くことで、数値目標の D 評価と事業評価の A 評価の差がわかると思う。なぜ「D 評価なのか」ということを、もっと考察しないといけない。

【委員】

現状値が令和 3 年となっているのはどういった理由か。数値目標の「体育・スポーツ大会等の実施数」があるが、この令和 3 年の目標値はコロナの時期ではないか。

【事務局】

第 2 期けんこうプラン大磯の計画の策定年度が令和 4 年度のため、令和 4 年度時点で確定している令和 3 年度の数値を使用している。令和 5 年度の数値が高いのは、

コロナによる行動制限が緩和されたことにより、スポーツ大会等の実施数が増加したため。

【委員】

「成人歯科健診（55歳～64歳）で24本以上自分の歯を有する者の割合について」自分としては90%を超えれば良いほうと考えているが、たった1.2%下がっただけでD評価になってしまうので、評価方法が非常に厳しいと感じている。

【事務局】

数値目標の評価については、令和5年度の数値を令和3年度の現状値と令和9年度の目標値との伸び率を計算し、達成ランクAからEをつけている。また、今回非常に厳しい評価となっている要因の一つに、令和9年度の目標値について、それぞれの指標に対する理想の数値を設定していることもある。

【会長】

第2期けんこうプラン大磯は、令和5年度から始まっており、来年度については令和5年度と令和6年度の評価と比較ができる。何がどの程度変わったかなど、比較や分析ができると思う。この評価のやり方は、それぞれの年度毎の数値結果に対して、決められた令和3年度の現状値と令和9年度の目標値を基に計算して評価をしているだけになってしまう。去年と比較してどうだったのかという分析も必要と考える。

【委員】

現状値を基に目標値を設定しているので、評価が悪くなるのは仕方ないが、特定健康診査受診率の受診率が伸びていることは素晴らしいことと思う。健康に心配な方々が受診をしたからこそ、ほかの数値が悪くなったことについては良い傾向と考える。評価方法は変えられないので、受診率の増加により評価が悪くなるのは仕方ないことと思うが、今後、5年間分の年度毎の変化率を見ていくことで、大磯町の次の課題も見える化していけたら良い。また、大磯町の特徴として、他の市町村と比べてアルコールを摂取する人の割合が高い傾向があるが、今後は会議の中で何かに着目する事業や指標を決め、掘り下げた議論をすることも検討してほしい。

【委員】

他の市町村でこのけんこうプラン大磯のような計画はあるのか。例えば、事業が成功している自治体があるのであれば、参考とするのも良いことだと考える。

【事務局】

他の自治体も法律に則り、自治体のテーマや課題に沿って、計画に取り入れる事業を決め、目標値を定めており、それぞれの自治体によって計画自体が異なるものではあるが、今後は他の自治体の計画も参考としていきたい。

【会長】

いくつかの自治体でこういった計画に携わっているが、どこの自治体も評価や目標設定について非常に悩まされている。量的なものなのか、質的なものなのかという問題もあり、回数を多くやったから良いのか、回数は少なくとも質を高めるから良いのかという判断が非常に難しい点である。ただ、スポーツ健康課だけでなく、他の部署の事業もある計画のため、他部署との連携するためにも定期的に会議をしていくことで、担当の計画に対する共通認識を持つことや、細かい業務の重複部分や省略できる点を見つけたりすることもできるので、是非検討をしてほしい。

【委員】

たばこの喫煙について、大磯町役場の建て替えがあると思うが、その際は分煙ではなく禁煙としてほしい。様々な意見はあると思うが、第2期けんこうプラン大磯の計画にもあることなので、是非庁舎建て替えの会議などで勧めてもらいたい。

【事務局】

町の住民にとっては行政職員の健康も大切なことなので、行政の職員が率先して禁煙に取り組むことについて、呼び掛けていくことは良いことと思う。喫煙場所を設けるか否かという点については、町民の要望等もあるため、この場では明言できないが、このようなご意見をいただいているということについて、庁舎建て替えの会議の際にお話しさせていただきたい。

【委員】

多くの事業が関係している計画のため、視点がなかなか定まらないこともあるが、せっかく知恵や経験のある人が集まっている会議なので、計画をより良いものとするにあたり、どのようなことが課題なのか、率直にどういったことに悩んでいるのかを会議で意見を聞くことで、問題解決に近づけると思うので、次回以降検討してほしい。

【会長】

他の部署の担当者について、この第2期けんこうプラン大磯についてどれだけ理解をされているだろうか。全員で大磯町の「健康」に向けて進めていこうという認識はあるのだろうか。是非、今回の会議でそういった認識の部分の話があったことも他

の担当者に伝えてもらいたい。

【事務局】

この第2期けんこうプラン大磯の計画だけでなく、他の計画も多くあるため、それぞれの担当は自分の部署が所管する計画については深掘りしていくが、関連事業だからといって、他の部署の計画まで深掘りができているかというところがある。担当部署の所管の計画をしっかりと進めていくことで、第2期けんこうプラン大磯の関連事業も良くなっていくと考える。まずは、町全体の計画の中で、自分の計画がどのように関わっているのかという認識について伝えていきたい。

4 閉会